

金 曜 ライフ・楽しむ

シニア世代を応援するページです

わたし色

生活情報誌「悠悠と。」

編集長・真鍋康利さん



いよいよあと半月ほどで新元号が発表されます。どんな元号になるか興味津々、とても楽しみにしています。どんな名前でも長く皆に愛されるといいですね。

それにしても平成はほぼ30年間、いろいろなことが起こり、長くもあつたし、短かつたような気がします。そんな平成ももう終わりかと思うと感慨深いものがあります。

阪神・淡路大震災、東日本大震災はじめ、新潟県中越地震、熊本地震、近いところでは北海道胆振東部地震などたくさん地震が発生しました。ちょっと多すぎませんか。今なお不自由な暮らしを強いられている方も多く、一日も早い復旧・復興を願うばかりです。

私は大阪出身、1971年に北海道へ移住。その後一度上京し、88年の夏、再度北海道へ戻りました。故郷に戻るUターンがよく話題になりましたが、私の場合、Nターンと呼べたこともあります。年が明けるとすぐに改元、「平成」を迎えました。そして99年の春、突然会社を辞めることになり、その夏に起業し今に至ります。この間、ある決定をする際、何かと日付や年号を気にしていました。

例えば、会社の創業日は2度目に北海道へ上陸した日。「悠悠と。」の創刊は、なんとかして1900年代にしたいと願い、頑張って99年末に間に合わせました。その後「21世紀になった」と大騒ぎしましたが、身の回りも含め、バタバタした記憶ばかりよみがえります。

新元号に変わり新しい時代を迎えるのを機に、せっかくだから、自分の現在位置を確かめてみませんか。自分が今どこにいるかを知ること、正しい方向に進んでいるか、これからどう進めばいいかが見えてくるはずです。

現在位置といえば航海を思い出します。陸地の見えない大海原で、計測器の六分儀やコンパスを用いて太陽や星を目標に船位を測定するのが天文航法。例えていうと、こう生きていきたいとか、夢を形にしたいという希望が太陽や星に当たります。

灯台や山などから船位を測定する地文航法は、親兄弟、先輩や上司などの生き方を参考にすることになるでしょう。

予測や推測ではこの辺りにいるはずなのに、海流、潮流、風などの影響で必ずしもそうならないことも多いのが航海で、「私の人生、こんなはずじゃなかった」というのが後悔。

いずれにしても思い通りに行かないものです。口に出るのは、「明日はどっちだ！」という言葉ばかりの毎日です。